



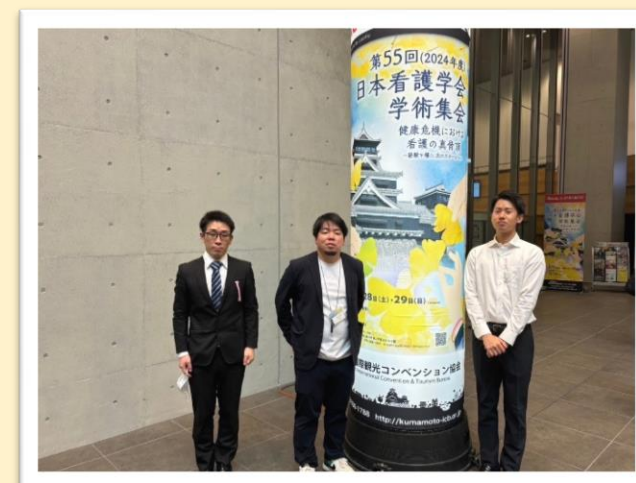
R6年9月28日熊本城ホールで開催されました、

「第55回 日本看護学会学術集会」において

「リフレクションが道徳的感受性へ与える効果の検討」として研究発表をおこなってきました。



日々現場で看護を提供する看護師として、自分の言動が道徳的であるために倫理的な能力を育成していくことの必要性が伝わるきっかけになればと思います。



プログラム集

2024年  
会期 9月27日(金)・28日(土)・29日(日)

会場 熊本城ホール(熊本市)

会長 高橋 弘枝  
(公益社団法人日本看護協会会長)

ポスター26群 精神看護① (会場)ポスター会場(展示ホール) 9月28日(土) 9:00~10:00

座長: 河野 伸子 (横須賀共済病院/精神看護専門看護師)

- ◆ポスター 26-1 精神疾患をもつ透析患者の暴言被害の実態  
透析施設で働く看護職の心情に着目して  
肥田野 ちえこ 県北西部地域医療センター国保白鳥病院
- ◆ポスター 26-2 精神科看護における知識伝授プロセスの特徴  
臨床判断プロセスに潜む暗黙知  
池之上 淳子 相模ヶ丘病院
- ◆ポスター 26-3 虐待予防研修にロールプレイングを導入した虐待場面の減少効果  
紺野 真由美 岩手県立大船渡病院
- ◇ポスター 26-4 この演題は取下げになりました
- ◇ポスター 26-5 精神科病棟の看護師が受ける暴力防止  
包括的取り組みの施行  
板敷 椎奈 北海道大学病院
- ◆ポスター 26-6 リフレクションが道徳的感受性へ与える効果の検討  
-精神科に従事する看護師を対象とした研究-  
西海 亮太 樹光会大村病院